

全ての争議を解決し
安全・安心の航空へ

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.937 (33-9) 2019年2月16日

全国で32番目

～争議9年目、まだまだ広がる支援の輪～

「栃木の会」が発足！

2月5日、「不当解雇撤回を求めてたたく日本航空労働者を支える栃木の会」(略称「JAL原告団を支える栃木の会」)が宇都宮市内の栃木福祉プラザで発足しました。北関東での支える会発足は初であり24名が参加、争議団からは栃木県在住の山口乗員団長と宍戸富美子事務局次長が出席しました。

主催者挨拶では、宇都宮地区労の渡辺公一議長から、「今、日本中で労働者の権利が蔑ろにされている。国鉄に続くJALの争議は大きな闘い、公共交通機関は安心と安全が求められている。不当な解雇を許さず、整理解雇4要件を守ることは、全国の労働者の権利を守ることに繋がっている。JAL争議団を支え激励し勝利し職場に戻そう」と力強い訴えがありました。

山口パイロット団長から報告



山口団長から、経営破たんの原因や解雇に至る経緯、裁判の経過、全国的な支援の状況、労使交渉の現状など、争議全般について1時間の報告が行われました。

参加者は、パイロットの流出や、最近の飲酒問題など職場の現状に強い関心を寄せていました。また報告の中でのJALが支払った管財人への破格の報酬や、裁判対策として最高裁判事がJALへ天下りし、判決後即解任された件などに大変に驚いた様子でした。

参加者からは「JALの闘いは重要な闘いだ。特に公共交通機関に働く者に健康不安や雇用不安があってはならない。必ず勝利すべき闘いだ。市民にも広く訴えていこう」

「昨年までは国交省前の座り込みなど目立った集会もあった。やらなければならないことは沢山ある」などの意見が出されました。そして当面の取り組みとして、JAL不当解雇の真実を知らせる学習会や宣伝活動、全国支える会への加入促進と物販への協力などが確認され「がんばろ～」の合唱で閉会となりました。



全く同感です！

赤坂社長（昨年11/14 経営協議会）

「全面解決」という想いを労使で共有して、何ができるか真剣に考えていかなければならない。



統一要求に正面から答えない不誠実な態度に終始するJALに対し、昨年5月以降、両組合から争議団、支援者に出されていた街宣行動自粛のお願いを解き、2月28日全国一斉駅頭宣伝から再開することになりました。

乗員組合の春闘アンケートでは、「解決に向けて何らかの金銭補償が必要55%不要8%」という結果が出ました。さらに、今春闘で解雇問題に対しても争議権発議を決定しました。

今まで以上に社内外の運動でJALを包囲し、一日も早い統一要求を実現させましょう。